

松本市オンライン教育支援センター

オンラインを利用して、つながりのある人や場所を増やし生活を充実させることを主な目的としています。学習支援が主な目的ではありません。利用する小中学生の皆さんの希望をできるだけ取り入れて、安心して楽しむことができる居場所を目指しています。

できること

- 1 Meetを使ってスタッフや他の小中学生の利用者と交流する。
- 2 仮想空間内のリンクから自分が使いたいサイトに行って、学習したり遊んだり相談したりする。
- 3 仮想空間で他の小中学生の利用者やスタッフ、大学生や高校生のボランティアスタッフと交流する。

利用者の皆さんの希望をできるだけ取り入れて、できることを増やしたりやり方を変えたりしていきます。

1 Classroom内のMeetを使ってスタッフや他の小中学生の利用者と交流する

Classroom、仮想空間ともに利用にあたっては専用のアカウントを使用します。学校関係のものは表示されなくなります。本名は表示されず、自分が決めたニックネームが表示されます。



センターでの機材設定、体験、通信テスト（1時間30分程度）の後、1～2回、家庭とセンター間でMeetを使ってやり取りをします。（10分くらい）その際話題として好きなものや興味があることを紹介してもらっています。可能であればスライドを作成してもらい、空間内に掲示しています。その後は希望があれば日時を設定して交流を続けます。利用者から好きな曲のリクエストを募って、Meetで集まって聴き合うイベントも行っています。



2 仮想空間内のリンクを使って、自分が使いたいサイトで学習、遊び、相談などをする

この仮想空間には利用者やスタッフ等の関係者以外は入ってこないで24時間利用可能にしています。ただし、教育委員会が貸し出している一人一台端末には、21:00から6:00までインターネットにつながらないように制限がかけられています。センターでの機材設定、体験、通信テスト（1時間30分程度）の後、自分の都合のよい時に利用することができます。スタッフが仮想空間にいるのは平日の10:00から12:00です。仮想空間内では、上にニックネームが表示されたアバターで活動します。アバターは自分で作り変えることができます。

・W（または↑）で前進、S（または↓）で後退、A（または←）で左回転、D（または→）で右回転、Qで左へ視界移動、Eで右へ視界移動。同時にShiftキーを押すと動きが速くなる。スペースキーでジャンプ。



マウスのダイヤルでズームイン、ズームアウト
マウスを左クリックしながら上下左右で視界の上下左右移動

マイクの
オン、オフ

チャット

アバター、
視点の変更
等

各種アクション

アバターの
変更等





3 仮想空間を使って他の小中学生の利用者やスタッフ、大学生や高校生と交流する

仮想空間でもボイスチャットやチャットを使って空間内の他のアバターとやり取りができます。

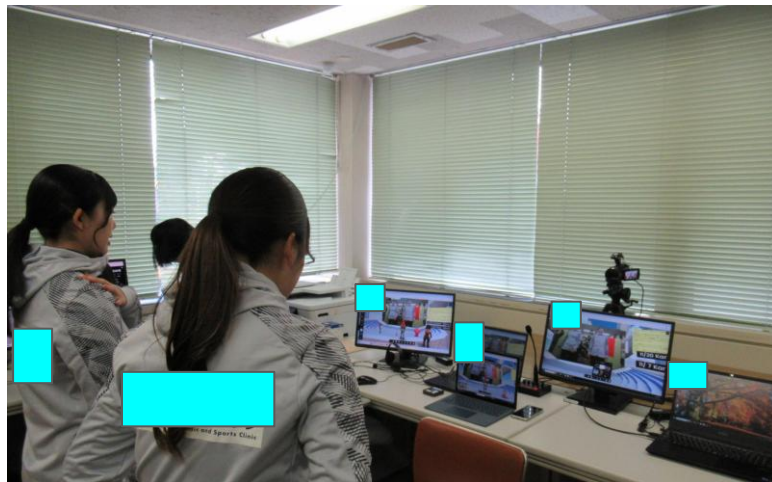
かくれんぼ・鬼ごっこ用空間で、かくれんぼや鬼ごっこをすることもできます。



複数で声を出して遊びたいときにはこの空間を利用



昨年度、松本工業高校の高校生が仮想空間内の「かくれんぼ大会」を企画し、大会用に専用の仮想空間をクリスマスバージョンと新春バージョンで作ってくれました。信州大学や松本大学の大学生の協力も得て、4回おこないました。今年度も予定しています。



昨年度は松本大学の大学生がMeetと仮想空間内のスクリーンに登場し、20分ほどの目の体操やストレッチを実施してくれました。

また、信州大学の大学生が交代で仮想空間にいてボイスチャットやチャットで交流しました。

今年度も、準備ができしだい実施する予定です。

4 その他

オンライン教育支援センターでは利用者がClassroomに残した利用記録をもとに利用した日を記録し、月ごとに利用状況を学校と家庭にお知らせします。松本市教育委員会では、オンライン教育支援センターの利用について、学校長の判断で出席扱いにできるとしています。